

2024年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏名
人間健康学部 人間健康学科	講師	松村雄樹
最終学歴	学位	専門分野
神戸大学大学院人間発達環境学研究科 博士課程後期課程修了	博士(学術)	スポーツ社会学

I 教育活動

○理念・目標・方針・計画(方法)

【理念】

本学における「三つの言葉」(建学の精神/校訓/教職員の心構え)を念頭に置き、学生一人ひとりの個性を育む

【目標】

「真に信頼して事を任せうる人格の育成」を目指し、友人・地域・社会に必要とされる学生教育に勤しむ

【方針】

対集団ではなく、個を大切にし、一人ひとりに届く講義を心掛ける

【計画(方法)】

講義科目では、教員から学生への一方向の講義だけでなく、課題解決型のグループワークやプレゼンテーションを多く取り入れ、学生と教員とのやり取りの機会を増やすだけでなく、学生間でのディスカッションを活発にできるような環境づくりを心掛ける。

演習科目では、「オンリーワンを一人にひとつ」を念頭に学生一人ひとりに目を向け、しっかりと対話しながら学生それぞれの個性を育む教育活動や卒業研究執筆のサポートを行う。

○担当科目(前期・後期)

(前期)

基礎演習Ⅰ、スポーツ社会学、専門演習Ⅰ・Ⅲ、レクリエーション論、障害者スポーツ論

(後期)

基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅱ・Ⅳ、生涯スポーツ論、レクリエーション実技、スポーツ原理、卒業研究

○教育方法の実践

講義では、学生が発言する機会を多く設けた。学生からの発言や学生同士のディスカッション、プレゼンテーションの時間を多用し、他者の意見や自身の発言の機会を多く設けた。

○作成した教科書・教材

特になし

○自己評価

概ね計画通りに教育を提供することができたと考える。加えて、卒業研究履修者を3名出すことができた。

II 研究活動

○研究課題

生涯スポーツイベント開催が地域に及ぼす効果に関する研究

○目標・計画

【目標】

生涯スポーツイベント開催による効果を主催者および参加者の視点から明らかにし、今後の生涯スポーツイベント振興事業のための基礎資料を得る

【計画】

生涯スポーツイベントを対象に調査を実施し、スポーツイベント開催による地域活性化の効果を明らかにする。さらに、イベント振興事業と地域活性化効果についてより詳細な因果関係の解明に接近するために、生涯スポーツイベント振興事業の開発と支援に直接関与しながら検討を行う。

○2017年4月から2025年3月の研究業績（特許等を含む）

（著書）

（学術論文）

- ・松村雄樹（2024）名古屋市名東区における運動・スポーツ活動参画のための実現条件の検討. 東邦学誌, 53（1）39-45.
- ・乾 順紀, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藪田 大地, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 三浦 敬太, 山下 耕平（2022）就学期の運動部所属経験が成人層の運動・スポーツ参画状況に与える影響：成人以降のスポーツ活動の多様化に着目して. 生涯スポーツ学研究, 19(1):1-12.
- ・Junki Inui, Makoto Chogahara, Kei Hikoji, Megumi Tani, Daichi Sonoda, Yuki Matsumura, Masaki Aoyama, Jun Matsuzaki, Keita Miura, Kohei Yamashita(2022) Relationship between Age Group and Sports Involvement Status Over the Past Year in Adult: From Examination of Experience of Adherence, Dropout, Adoption, and Resumption Career. International Journal of Sport and Health Science, 20:208-223.
- ・谷 めぐみ, 長ヶ原 誠, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 乾 順紀, 三浦 敬太, 島津 大地, 山下 耕平（2021）幼少年期の運動・スポーツ推進と成人の運動・スポーツ参与の関連. 体育・スポーツ科学, 30:11-22.
- ・松村 雄樹, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藪田 大地（2020）運動・スポーツ実施の開始希望者と再開希望者の条件要因に関する比較研究. 生涯スポーツ学研究, 17(1):1-11.
- ・松村雄樹, 長ヶ原誠, 彦次 佳, 谷めぐみ, 藪田大地（2020）中高年者における運動・スポーツ実施キャリアの実現要因の相違性について：継続・開始・再開における出現頻度に着目して. 体育・スポーツ科学, 29:1-9.
- ・Matsumura Yuki, Chogahara Makoto (2020) Facilitative factors on career patterns of sports participation in middle-aged and older adults: A comparative study. International Journal of Sport and Health Science, 18:220-230.
- ・藪田 大地, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 松村雄樹（2017）中高齢者におけるマスターズスポーツ志向の予測要因に関する研究, 生涯スポーツ学研究, 14(1):13-23.
- ・Sonoda Daichi, Chogahara Makoto, Hikoji Kei, Tani Megumi, Matsumura Yuki (2017) Discriminant Analysis of Adopters and Adherers of sport activities: Focused on the Differences of Their Support Needs. Journal of Asia Sport for All. 14(1):22-36.

（学会発表）

- ・野本祐里子, 坪川拓, 松岡桜太朗, 松村雄樹 (2025) 性別世代別に求めるスポーツ・健康に関わる地域活動の類型化. 2024 年度 愛知東邦大学 地域創造研究所シンポジウム
- ・松岡桜太朗, 松村雄樹 (2025) 域学連携型の生涯スポーツイベントにおける参加者の参加動機、満足度、再参加意図との関係. 2024 年度 愛知東邦大学 地域創造研究所シンポジウム
- ・松岡桜太朗, 中嶋悠貴, 松村雄樹 (2024) 「駅スポ!! in 藤が丘」参加者の参加継続に向けての一考察. 九州共立大学地域連携センター地域連携シンポジウム
- ・野本祐里子, 坪川拓, 松岡桜太朗, 松村雄樹 (2024) 名古屋市名東区民が求めるスポーツ・健康に関わる地域活性化活動の類型化. 日本生涯スポーツ学会第 26 回大会 (於: 流通科学大学)
- ・松岡桜太朗, 坪川拓, 野本祐里子, 松村雄樹 (2024) 駅スポ!! in 藤が丘におけるイベント参加者の参加動機、満足度、再参加意図との関係. 日本生涯スポーツ学会第 26 回大会 (於: 流通科学大学)
- ・Daichi Shimazu, Makoto Chogahara, Kei Hikoji, Megumi Tani, Daichi Sonoda, Yuki Matsumura, Masaki Aoyama, Jun Matsuzaki, Junki Inui, Keita Miura (2020) Factors Associated with Participation Interest in World Masters Games 2021 Kansai: Comparing Interested Group and Uninterested Group, The 2020 Yokohama Sport Conference
- ・Keita Miura, Makoto Chogahara, Kei Hikoji, Megumi Tani, Daichi Sonoda, Yuki Matsumura, Masaki Aoyama, Jun Matsuzaki, Junki Inui, Daichi Shimazu (2020) Characteristics of the Volunteer Applicants for International Sporting Events: A Case Study of WMG2021KANSAI, The 2020 Yokohama Sport Conference
- ・Matsumura Yuki (2019) Facilitative Factors on Career Patterns of Sports Participation in Middle-Aged and Older Adults: A Comparative Study, 26th TAFISA World Congress Tokyo 2019 (in Tokyo, Japan)
- ・松村雄樹, 長ヶ原誠, 彦次 佳, 谷めぐみ, 藪田大地, 青山将己, 松崎淳, 乾順紀, 山下耕平, 三浦敬太, 出戸寿明 (2019) 中高年者における運動・スポーツ実施キャリアの実現要因に関する研究 -継続群・開始群・再開群との比較から-, 日本生涯スポーツ学会第 21 回大会 (於: 北翔大学)
- ・山下 耕平, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藪田 大地, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 乾 順紀, 三浦 敬太, 出戸 寿明 (2019) マスターズスポーツ参加者の WMG2021 関西への参加意欲に関連する要因: 硬式野球競技に着目して, 日本生涯スポーツ学会第 21 回大会 (於: 北翔大学)
- ・出戸 寿明, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藪田 大地, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 乾 順紀, 山下 耕平, 三浦 敬太 (2019) 国際生涯スポーツイベントの開催準備期における大会関連事業のプロセス評価: ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催地に着目して, 日本生涯スポーツ学会第 21 回大会 (於: 北翔大学)
- ・三浦 敬太, 長ヶ原 誠, 彦次 佳, 谷 めぐみ, 藪田 大地, 松村 雄樹, 青山 将己, 松崎 淳, 乾 順紀, 山下 耕平, 出戸 寿明 (2019) スポーツイベントにおけるボランティア参加が活動主体者に及ぼす影響: マスターズ甲子園ボランティアのキャリアに着目して, 日本生涯スポーツ学会第 21 回大会 (於: 北翔大学)
- ・松村雄樹, 長ヶ原誠, 谷めぐみ, 彦次 佳, 藪田大地 (2017) 運動・スポーツ実施の開始希望者と再開希望者の条件要因に関する研究, 日本生涯スポーツ学会第 19 回大会 (於: 龍谷大学)
- ・松村雄樹, 長ヶ原誠, 彦次佳, 藪田大地 (2017) 運動・スポーツ実施希望者の実現要因に関する研究 - テキストマイニングによる解析 -, 日本体育学会第 68 回大会体育社会学専門分科会 (於: 静岡大学)
- ・松村雄樹, 長ヶ原誠 (2017) 成人・中高齢者における運動・スポーツ実施希望者の実現要因に関

する研究, 兵庫体育・スポーツ科学学会第 28 回大会 (於: 兵庫大学)
(その他)

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況 (学内外)

愛知東邦大学 地域創造研究所 指定課題 特別研究助成 採択

愛知東邦大学 地域創造研究所 2024 年度 共同研究助成 採択

○所属学会

日本体育・スポーツ・健康学会、日本生涯スポーツ学会、兵庫体育・スポーツ科学学会

○自己評価

概ね計画通り、研究活動を実施できた (学術論文 1 編、学会・シンポジウム発表 5 件)。引き続き、生涯スポーツをキーワードに研究活動に取り組む。

III 大学運営

○目標・計画

【目標】

所属委員会、大学および学園業務において与えられた役割を果たす。

【計画】

所属委員会 (地域・産学連携センター運営委員会、教養教育センター運営委員会)、大学および学内事業にて、それぞれに求められる役割をしっかりと把握・理解した上で自身の役割を果たし、貢献する。

○学内委員等

地域・産学連携センター運営委員会、教養教育センター運営委員会

○自己評価

各委員会において委員として貢献した。特に、地域・産学連携センター運営委員会ではシンポジウムの企画運営およびパネルディスカッションのモデレーターとして貢献できた。

IV 社会貢献

○目標・計画

【目標】

研究成果を社会に還元し、地域における生涯スポーツ活動の促進に尽力する。

【計画】

2023 年度の成果を研究としてまとめ、学内外に発信していく。

○学会活動等

兵庫体育・スポーツ科学学会 編集委員

○地域連携・社会貢献等

マスターズ甲子園 2024 実行委員会 実行委員

○自己評価

学会活動については編集委員としての業務に付け加えて、学術論文の査読を 2 編行った。地域連携・社会貢献については東邦学園スポーツ・文化振興局、中野准教授と共に名東区のスポーツによる活性化について貢献できたと考える。

V その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学術交流、自己研鑽等）

他大学の先生方との共同研究についても学会発表や学術論文という形で成果として残せるよう努める。

VI 総括

在職2年目となり、初年度と比較しゆとりを持って教育・研究に携わることができた。目標であった卒業研究履修者を3名出すことができ、さらに「地域と連携した授業・活動報告会」において3年生演習に所属する学生が最優秀賞を受賞することができた。次年度以降も自身の研究活動をより推進していくとともに、学生には「大学って楽しい」と感じてもらえるようなアクションを起こしていきたいと思う。

以 上